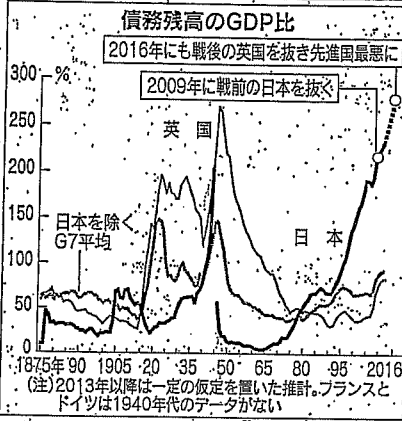


日本の債務残高



日本の公的債務残高が先進国の歴史上、最悪の水準に迫りつつあることが分かった。国際通貨基金(IMF)によると、2009年一般政府の債務残高はGDPの200%に達し、戦前の水準に達した。1945年以降の最悪となった。この半世紀に及ぶ債務の増加は、5年連続で第2次世界大戦直後の英国を抜き、先進国史上、最も悪く状況に陥る可能性がある。

先進国史上 最悪水準に

- 今の財政状態は終戦直後より悪い。
- 終戦直後の状態
 - ①政府は借金がいっぱい
 - ②国民は債権(国債)をいっぱい持っている
 - ③政府の借金の見返りになる有用な資産は何もない焼け野原
- 同じような状態の日本、ドイツ、イギリス
 - 日本とドイツは戦争に負け、政府は借金を取らした。貨幣を印刷した。
 - イギリスは戦争に勝ち、貨幣でなく国債を返済して戦後復興を促した。
- 日本とドイツは、奇跡的な復興と強い経済成長した
- 日本は1968年(昭和43年)ドイツを抜いて世界第2位経済大国になった。(奇跡的な成長)

16年にもGDP比277% 大戦後の英抜く可能性

IMFが一部の国を除き1800年代から債務残高のGDP比を算出している。戦争前後のドイツや先進国史上、最悪の水準

フランスのデータは一部欠落している。既に戦前を抜く日本は戦前に戦後最悪の水準に達した。戦後、急激なインフレにより国債の表裏価値が縮小して、46年には66%に急低下したが、70年代から再び一貫して上昇。96年にはGDP比と同水準となり、2009年に1944年の記録を抜いた。1月公表の最新推計によると、2012年には202%に達する。日本以外の先進国では英国が1946年のGDP比の266%まで債務残高が積み上がった。天文学的なインフレに陥ったドイツを除く先進国は、戦後の水準

2013年以降、日本の債務が直近5年間で同じペースで増え続ける想定すると

2010年の277%となり、終戦直後の英国の記録を抜く計算となる。英国はその後、財政悪化やインフレに記録された。

「英国病」と呼ばれる停滞期に入った。着実な削減必要 債務残高の日本は債権の95%以上を国内で保

有し、長期金利は欧米諸国より低い水準で抑えられている。ただ、国と地方の政策経費を削減だけでは賸りず、2011年度は約27兆円の財源が不足している状況。財源不足は新たな借金を穴埋めするため、基本的に財源不足を解消しない限り、債務残高が増え続ける。

歴史学上、巨額の債務を抱える国は、債務がインフレによる調整が債務不履行(デフォルト)に追い込まれる例が多い。三菱総合研究所の武田洋平

今の日本の債務比率の増加は戦争ではなくデフレにより債務は増加 GDPは成長せず500兆円まで

借金がいっぱい 高切な政策かという

借金を減らして増税支出削減 (イギリス病 今の日本病)